

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

D 老人・障がい者福祉施設

3 障害者交流センター

令和6年5月改訂

魚 津 市

(所管部署：社会福祉課)

目 次

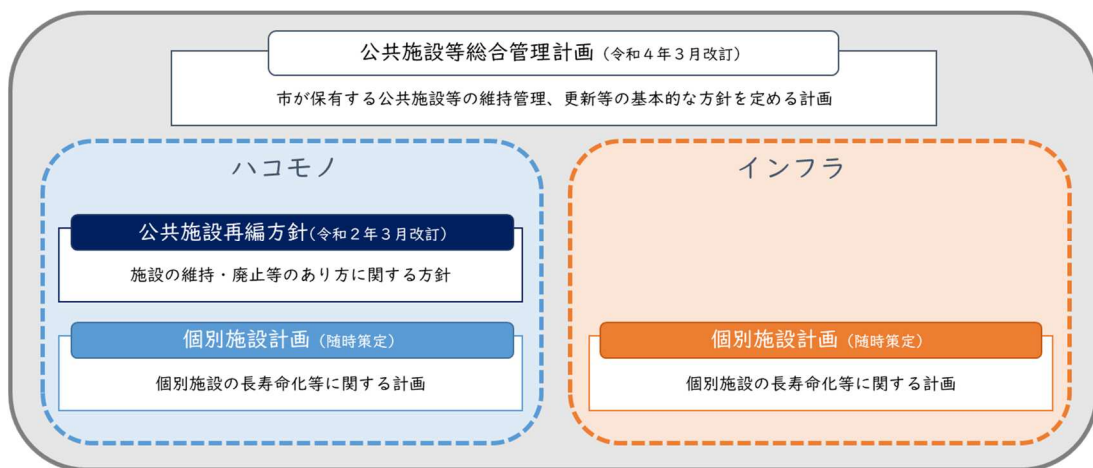
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	1 P
1. 2	対象施設	1 P
1. 3	計画期間	1 P
1. 4	進行管理	1 P
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	2 P
2. 2	位置図	3 P
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	4 P
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	5 P
3. 2	現状と課題	5 P
3. 3	今後の考え方	5 P
3. 4	対策内容と実施時期	7 P
3. 5	対策費用	7 P

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

魚津市における公共施設等総合管理の概念図



1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「障害者交流センター」とします。

1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

2 施設の状況

2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
									耐震化改修	長寿命化改修		
										屋根	外壁	他
1	交流広場	H15	19	W/1	320.42	2,861	81.6%					R4年度空調設備更新 R5年度多目的室照明LED化
	多目的訓練室											
	事務室											
	障害者トイレ											
	その他							17.82				
合計					338.24	2,861						

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和4年度末時点

2. 2 位置図



2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		R2	R3	R4	R2				R3				R4			
					収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	障害者交流センター	5,571	4,913	5,432	387	4,505	▲ 4,118	2,540	363	4,063	▲ 3,700	2,540	423	4,513	▲ 4,090	2,540

3 個別施設の方針

3.1 施設の役割

魚津市障害者交流センターは、障がい者やその保護者同士の交流などを通して、障がい者自身が地域で元気に生活できるよう、障がい者の福祉増進を図るものです。

3.2 現状と課題

利用者増に向けた取り組みや施設の利用促進に向けた取組を進める必要があります。施設修繕必要箇所を精査をし、中長期的な修繕計画を策定する必要があります。

3.3 今後の考え方

①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和6年改訂版）抜粋）

<再編方針>	目標年度：長期（R21）
○施設の整備・補修計画に沿って、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持する。	

②対策の優先順位の考え方

建築年度から経過年数が19年であり、対策の優先順位は低いと考えます。市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

④施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

⑤社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、ユニバーサルデザイン化、施設の脱炭素化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25		
1	障害者交流センター																						

※ ㉒は、減価償却資産の耐用年数（障害者交流センター（木造）は、22年）を表しています。

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、「障害者交流センター」の施設類型全体で約4千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。